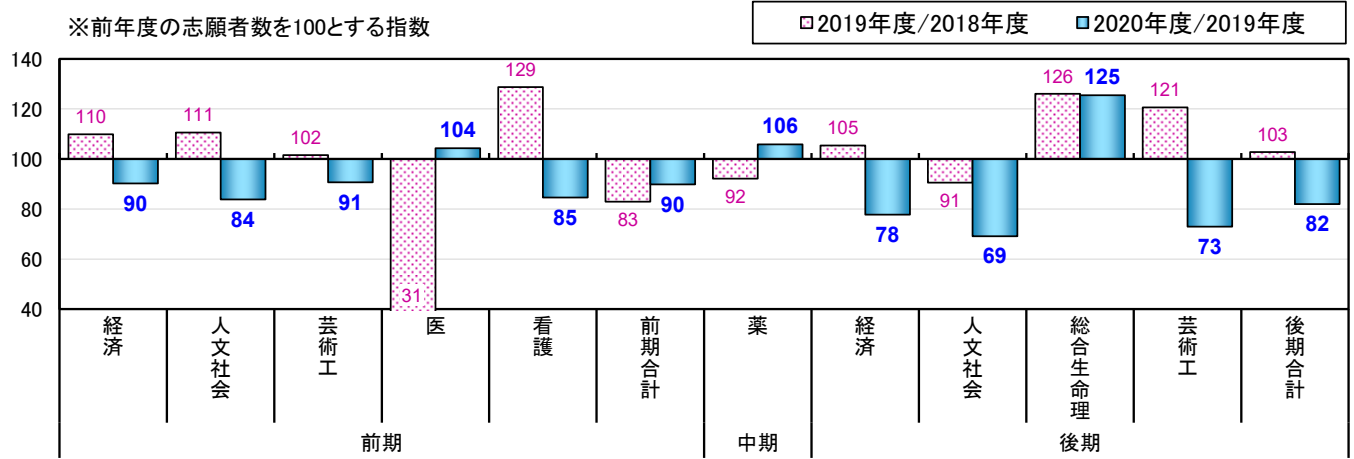


2020年度入試状況分析【国公立大】

名古屋市立大：中期のみ増加、後期は大幅減少 前期：-146人 中期：+63人 後期：-265人



入試変更点 募集人員：人文社会(現代社会)〈前〉…50人→49人、〈後〉…12人→8人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は146人(90)の減少で2年連続減少。薬のみ募集の中期は、2年連続減少の反動から63人(106)のやや増加。学科別では、いずれも2年連続減少だったが、(薬)(102)の反動は小さく微増、(生命薬科学)(113)は反動で増加。後期は4年連続増加の反動から、265人(82)の大幅減少。

＜前期日程＞

- 経済(90)は、3年連続増加の反動で減少。
- 人文社会(84)は、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、(心理教育)(95)を除く2学科は(国際文化)(77)、現代社会(79)ともに20%以上の大幅減少。
- 芸術工(91)は、減少。2016年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、(情報環境デザイン)(115)が大幅増加、一方で(産業イノベーションデザイン)(64)は大幅減少。
- 医(104)は、前年度約7割減の激減だった反動は見られず、やや増加に留まった。志願倍率は2.7倍→2.8倍とわずかにアップしたが、3倍を下回った。
- 看護(85)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。

＜後期日程＞

- 経済(78)は、系統への人気低下もあって大幅減少。方式別では、〈Mコース〉(66)が前年度大幅増加の反動で大幅減少、〈Eコース〉(94)は前年度大幅減少に引続きやや減少。
- 人文社会(69)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、3学科ともに大幅減少。
- 総合生命理(125)は、開設後2年連続大幅増加し、志願倍率も4.1倍→5.2倍→6.5倍と連続で1ポイント以上アップ。
- 芸術工(73)は、大幅減少。4つの募集単位が全て10%以上の減少。特に(産業イノベーションデザイン)(53)は半減近い減少。